

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27510  
学校名：稲穂小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	<p>○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 ・握力・ソフトボール投げ</p> <p>○前回の記録より下回った種目 ・反復横とび・20mシャトルラン走</p>	○男女ともに「握力」「ソフトボール投げ」で全国平均を上回っており、休み時間に体を動かす習慣が数値の向上につながっている。一方で、「上体起こし」「反復横跳び」は全国平均を下回っており、体幹の筋持久力や敏捷性に課題が見られる。
体力・運動能力 <女子>	<p>○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 ・握力・20mシャトルラン・50m走 ・立ち幅とび・ソフトボール投げ</p> <p>○前回の記録より下回った種目 ・反復横跳び 上体起こし</p>	○本校で実施している「ジャンプ手形」の常設、「ロープスロー」などの取組が、「筋力・瞬発力」の向上に表れている。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<p>◇運動やスポーツが好き、やや好き</p> <p>R6 男子 86.9% 女子 95.1% R7 男子 100% 女子 87.5%</p> <p>◇体育の授業で目標を意識した学習で「できた、分かった」を実感すること</p> <p>R6 男子 76.3% 女子 85.7% R7 男子 78.1% 女子 75.0%</p>	○多くの児童が運動やスポーツが好きで、体育の授業に対して好意的である。一方、目標を意識した学習の中では、「できた」「分かった」といった達成感や理解の実感が十分ではない様子が見られる。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□自己の課題に応じた目標設定と、次に生かす振り返りを充実させるとともに、運動量を確保した体育学習を推進する。</li> <li>□体力テスト3種目全校実施・振り返りの取組の継続。</li> <li>□器械運動領域での、用具常設などによる「○○重点期間」の実施</li> <li>□外部講師と連携した水泳領域の指導。</li> <li>□ICTを活用した学習を推進し、動画撮影による自己分析を通して主体的な課題解決力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□体育館に「ジャンプアップ手形」を設置し、休み時間などに進んで体を動かす機会を設ける。また、「ロープスロー」を期間限定で設置し、友達と競い合う楽しさを味わえるようにする。</li> <li>□異学年交流では、鬼あそびなど体を楽しく動かす機会を多く取り入れる。</li> <li>□保健体育委員会活動で、「運動の楽しさ」を感じることでできるイベントを行うことを通して、運動に親しむ意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□性や食に関する指導における児童の実態をふまえた効果的な実践</li> <li>□保健だよりや給食だよりを活用した家庭への発信と連携</li> <li>□スマホ・電子メディアとの付き合い方における家庭との連携</li> <li>□授業等で「健康・命」を守るための啓発活動</li> <li>□専科指導による専門的な授業</li> </ul>
---------------	--	--	---

<b>家庭・地域との連携・協働</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力テストの結果を家庭に周知し、体を使った外遊びの機会を増やすなど家庭での過ごし方を促す。</li> <li>○学校独自の児童アンケートや保護者アンケート等の結果を保護者に伝え、家庭との連携において活用する</li> <li>○水泳学習では地域の公共施設のインストラクター、スキー学習では保護者ボランティアに学習補助を依頼する。</li> </ul>
---------------------	---